

令和8年度第1回学校運営協議会 議事録

1 日 時 令和8年6月23日（火）午前9時30分から11時30分まで

2 会 場 浜松商業高等学校 応接室

3 出席者 （委員）佐原 司郎 氏、岡田 政之 氏、松山 佳典 氏、山内 美香代 氏、
渡瀬 吉朗 氏
（学校）西村 智子 校長、袴田 康行 副校長、米本 敦 教頭、
山本 芳弘 事務長

4 協議内容【発言要旨】＜ ＞は発言者

(1) 校長挨拶 ＜西村校長＞

自己紹介の後、学校の近況報告、今後の学校教育活動で充実させたいこと及び、安全安心な学校づくりをしていく旨の表明、学校運営協議会の趣旨について説明した。

(2) 会長、副会長の選任 ＜袴田副校長＞

本来は委員の互選により会長、副会長を選任するところ、今回が初回で初顔合わせであることから、会長に倉本哲男氏（本日欠席）を、副会長に佐原司郎氏を選任することを提案し了承された。

(3) 委員等の自己紹介（名簿順に）

＜岡田委員＞ 浜松市立北部中学校校長

＜佐原委員＞ （株）笠子流通代表取締役社長、本校OB

＜松山委員＞ 文丘町自治会長（令和7年4月～）

＜山内委員＞ 本校PTA副会長、3年生保護者、本校OB

＜渡瀬委員＞ 浜松商業高等学校同窓会副幹事長、本校OB

＜倉本委員＞ 静岡文化芸術大学教授（本日欠席）

以下、参加職員の氏名、在籍年数等の紹介

西村校長、袴田副校長、米本教頭、山本事務長

(4) 校内視察

1年生から3年生の教室の授業、特別教室棟、体育館等の施設を視察した。

(5) 令和8年度学校運営協議会の開催計画 ＜袴田副校長＞

第1回 6/23、第2回 10/2（浜商祭）、第3回 12/22（課題研究発表会）、第4回 2/3の全4回とする予定であることを説明し、了承された。

(6) 令和7年度学校関係者評価 ＜袴田副校長＞

重点取組目標、成果目標の趣旨、項目ごとの評価、学校評議員からの意見等を説明した。

令和7年度の第4回の協議会で意見をいただいた内容をまとめた旨を説明し、了承された。

(令和8年度学校経営計画) <西村校長>

ア スクール・ミッション、スクール・ポリシーの説明

商業4分野や特別活動、部活動を軸に据えた課題解決型学習を通して、国内外で活躍し将来を担っていく人材を育成

イ 取組の説明

客観的に生徒を評価する仕組みの構築、適切な進路選択、交通安全、特別支援教育が必要な生徒の情報共有、積極的な広報活動及び、令和7年度からの変更点

(7) 令和8年度不祥事根絶取組計画 <袴田副校長>

例年、県教育委員会に不祥事根絶取組計画を提出している。特に、6月から7月にかけてを不祥事根絶月間と位置付け、職員研修等で意識付けしている。

また、教職員の生徒指導に係る共通ルールを定め、生徒等への連絡ツールはCライン、教職員の自家用車へは生徒を乗車させない等の徹底を図っている。

(8) 令和7年度進路状況の説明 <袴田副校長>

進学及び就職の状況について説明した。

ア 進学の状況

令和7年度は、約半数が進学者している。4年制大学への進学者がやや増加した。指定校推薦が最も多く、次に総合型選抜、公募制推薦、スポーツ推薦の順となっている。令和7年度は、一般入試に挑戦した生徒も少数あった。

イ 就職の状況

生徒の約半数が就職する。民間関係は資料に記載のとおりである。令和7年度は公務員では警察関係が多いというのが特徴であった。

(9) 商業科関係資格取得状況の説明 <袴田副校長>

資格取得の状況について説明した。

- ・ 教育課程のコース選択により、受ける検定が選ばれる。簿記検定は、会計コースの生徒が、情報処理検定は情報処理科の生徒が主に受検する。令和7年度は、英語検定に積極的に取り組んでいる生徒が見られた。

(10) 学校生活の近況等報告（新聞記事より） <米本教頭>

令和7年度から今協議会までの新聞に掲載された記事について説明した。

- ・ 本校には27部活が活動している。内訳は、運動部16、文化部11である。
- ・ 本年度は、運動部のサッカー部以外は県大会出場を果たした。
- ・ 文化部についても、簿記部、珠算部、ワープロも全国大会に出場している。
- ・ 応援団も活躍している。
- ・ 掲載記事について説明

5 委員からの意見等

各委員から感想、意見等を求め以下のとおり発言、応答があった。

<委員>

- ・ 授業を参観して、落ち着いて穏やかな教育活動が行われていると感じた。このようなことで、文化面であったり、運動面であったりというところにも繋がっていると思う。日頃の取組等が新聞記事にも反映されていると感じた。中学校にもこの取組等を伝えていきたい。

<委員>

- ・ 授業において、板書が少なく、ICTを活用している状況が印象的であった。
- ・ 部活動で疲れているであろうが、活き活きと授業を受けていた。
- ・ 報道等で、部活動の送迎で大きなバスの事故があった。運送の業界に携わる者としてショッキングな出来事であった。浜松商業高校のバス等の安全な運営に関しての方向性等は決まっているのか伺う。

<米本教頭>

- ・ 県の規程に沿って運用している。全職員に調査して現状を把握しているが、安全に運行されていることを確認した。今後も、安全運転や運行前点検等も含めて職員会議等で周知徹底していく。部活動のバスの運営は、各部活動の後援会が行っている。

<委員>

- ・ 報道で小学校での火災が報じられた。近年、地域でも火災が発生している。地域の防災訓練には多くの生徒に参加してもらっている。有事の際は若い力が必要である。今後も、各地域での防災活動への参加協力をお願いする。

<委員>

- ・ 保護者目線、PTA目線、野球部の父母目線、OB・OG目線で見させていただいた。就職も進学も部活だけではだめだと感じた。先生たちが協力して生徒のサポートをしていることがよくわかった。今後ともよろしく願いしたい。

<委員>

- ・ 昔の授業とはスタイルが随分変わったと感じた。ICTを活用しての授業はすばらしいと思った。特に、リモートで授業を行っているところが、そんなところまで対応しているのかという気持ちになった。感動した。県立高校でリモート授業を行っているところはあるのか。

<西村校長>

- ・ 不登校等の条件があつてのことだが、学習保障ということで制度として国が定めたものである。各学校ではマニュアルを定めて対応することとなっている。本校では、生徒の状況によってオンデマンドで対応できるようにするなど、手厚い内容にしている。

6 閉会

すべての議題が終了し閉会となった。